

# 竹林の風

教育事務所だより第61号 - 前進・信頼・誠実 -

栃木県教育委員会事務局  
河内教育事務所  
令和4年5月20日  
発行責任者 西村和孝  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m51/  
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



## 令和4年度がスタートしました!



青葉若葉を、爽やかな風が吹きわたる季節となりました。令和4年度がスタートして、2ヶ月が経とうとしています。小中学校では、新しく入った1年生が徐々に学校に慣れ、学校中が活気に満ちていることと思います。

### 河内教育事務所基本方針

創意工夫し、前進する教育事務所  
責任感にあふれ、信頼される教育事務所  
誠実で、明るく活気に満ちた教育事務所



河内教育事務所でも、新たなメンバーを加え、「すべては学校のため  
すべては子どもたちのため」を合い言葉に、明るく前向きに業務に取り組んでいきたいと考えています。今年度も引き続き、上三川町教育委員会、宇都宮市教育委員会、そして関係諸団体と連携を図りながら、管内小中学校の運営に少しでもお力添えができますよう、所内職員22名、誠心誠意取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所内に同じ名字の職員が3組になりました。所内では基本的には「名字」ではなく「名前」を呼ぶようにしていますが、この春からは同姓同名が2名、所属することになりました。別の課に所属していますので、電話や文書等で連絡をいただきます際には、所属する課をつけて御指名いただければ幸いです。

## 「信頼される学校宣言」の取組について



学校が教育活動を推進する上で、「信頼」は欠かせないものです。教育の根底を成しているといっても過言ではありません。しかし、教職員の不祥事のほか、児童・生徒指導、保護者や地域の方への対応、自然災害や感染症に関わる安全対策など、十分な配慮ができなければ信頼を失いかねません。

そこで、それぞれの学校で、「信頼される学校宣言」のポスターを作成し、目指す具体的な姿や取組をスローガンとして明示し、校内に掲示していただければと思います。そして、日々、教職員一人一人が「信頼される学校」に向けて取り組んでほしいと考えています。

是非、各学校の実態に応じて主体的に取り組み、学校の信頼構築の一助にいただければと思います。

### 信頼される学校宣言

〇〇〇〇立〇〇〇学校

- 1.常に教職員として誇りを持ちます。
- 2.常に児童、保護者及び地域の方の話を傾けます。
- 3.子どもたちの安全を最優先に考えます。

《スローガンの内容例》

- ・ 服務規律や教職員としての使命感に関すること
- ・ 児童・生徒指導へ取り組む姿勢
- ・ 保護者や地域の方への対応
- ・ 学校安全や危機管理に関すること など

教職員一人一人の誇りと品格は 教育への信頼を確たるものにする

## シリーズ「自殺予防について」～④ 安心して生活できる環境づくり～

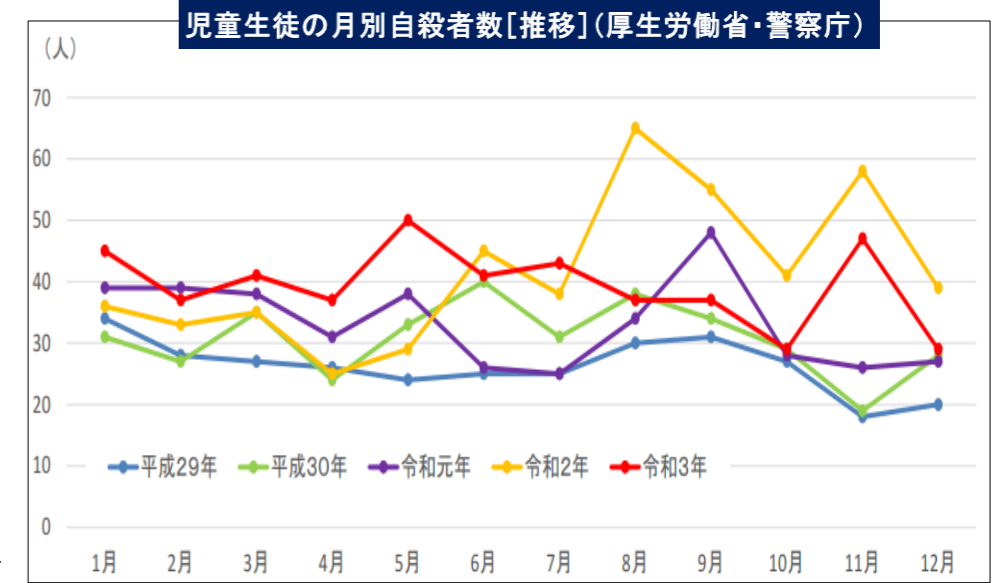
### はじめに

右のグラフは、全国の児童生徒の自殺者数の推移を示しています。新年度スタートの4月を基点とすると、5月から6月に向け増加し、1つのピークを迎えるという傾向が見られます。

4月は、児童生徒にとって新しい環境での生活となり、普段よりも無理をしたり、頑張りすぎてしまったりするものです。それ故に、5月から6月頃になると心や体のバランスが崩れ、

様々な症状を発症する児童生徒が多く見られます。

各学校や先生方には、この時期を自殺予防に取り組む重要な時期であると捉え、子どもたちが「安心して生活できる環境づくり」に努めていただきたいと思います。



### 安心して生活できる環境づくりにおける視点

「安心して生活できる環境」を考えるため、対義語である子どもが「不安」になる可能性のある要素について考えてみてはどうでしょうか。例えば、学力、友人関係、いじめ、先生との関係、容姿、将来、家庭などが考えられます。まずは、これらの要素を意識しながら、子どもたちをよく観察することが大切です。その上で、子どもたちへ配慮した言葉かけをしたり、環境を整えたりしてみましょう。そこで、安心して生活できる環境づくりにおける視点を3つ紹介しますので、参考にいただければ幸いです。

#### 視点1 課題遂行ばかり求めていないか

- ・ 休み時間まで課題遂行を求める時間になっていないか?
- ・ 給食がほっとできる楽しみの時間になっていないのではないか?

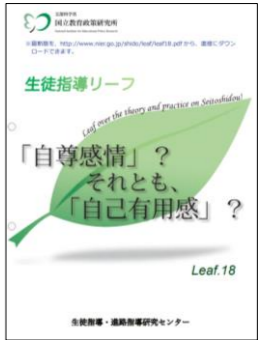
☞ 課題遂行とメンテナンス\*をバランス良く設ける必要があります。ほっとする時間や場所、じっくり休んだり気持ちを開放したりするなど、遊びや自分の時間も大切に、メリハリのある学校生活ができるようにしていきましょう。

\* メンテナンス：ここでは、「維持」等の他に、「回復」の意味も含めています。

#### 視点2 褒めると認める

- ・ 大人の基準で褒めていないか?
  - ・ 子どもは自分の基準で認めてもらいたいのではないか?
- ☞ 子どもは手応えのないことを褒められてもうれしくないことがあります。子どもは「こだわった」「見てほしかった」点に触れて褒めてほしいものです。一人一人をよく観察して、子どもの基準で認めるように心がけてみましょう。

参考：国立教育政策研究所 生徒指導リーフNo.18



#### 視点3 失敗できないというプレッシャーにさらされ過ぎていないか

- ・ 子どもは「～べき」とか「～しなければならない」という見えないプレッシャーにおびえていないか?
- ☞ 子どもの「なぜ?」「どうして?」を大切に授業やルールづくり、関わりなどをしていきましょう。「できる」「できない」で評価しないで、子どもの考えを大切にあげましょう。